

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月31日

事業所名 児童デイサービス結らんど山里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	部屋ごとに活動する場所、クールダウンができる場所等分けている	死角があつたりするが、各部屋に最低1名は職員が見守りを行っている
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	6	玄関前に、段差がある為スロープの設置 事業所内に活動表やその日のスケジュールを掲示し、視える化している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		その都度、状況に合わせてレイアウトを変えたりしている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		アンケート集計後に、職員間で周知、共有し業務改善していきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		7		研修参加の機会を増やしていきます
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	1		今後も定期的にアセスメントを行い、計画書の作成を行っていきます
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	通所初めに、保護者さんへアセスメントシートの記入を実施しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		職員全員で、活動案のアイデアをだしている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		日々、受け入れ前には職員ミーティングの実施を行っています	今後、役割等の内容を細かく確認ができるようにしていきたいと思います
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	連携ノートの活用	連携ノートを活用し、いつでも振り返りが行えるようにしています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		サビ管、管理者が参加	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	6	担当者会議等での参加、連携を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			7 対象児童なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			7 対象児童なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			7 担当者会議等での参加、連携を行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			7 担当者会議等での参加、連携を行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			7	今後積極的に参加していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			7	今後機会があれば、参加していきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			7	今後機会があれば、参加していきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			意識強化に努めていきます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			7	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時やその都度相談があった時は対応している		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			適切な助言・支援ができるよう努めています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		月に1回、事業所だよりで発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		7		見直しを行い、職員、保護者さんへ周知していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		年2回以上実施していきます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		服薬相談があった際は、職員間で連携し、周知している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	6	保護者に基づいて対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	その都度のミーティングや月1のミーティングで周知・振り返りしている	今後、ヒヤリハット報告書も作成していきます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		月1回、事業所内で勉強会を実施している	今後も定期的にも実施していきます
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2	身体拘束を行わない支援を行っている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービス結らんど山里

保護者等数(児童数) 5

回収数 4

割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	1			3	ボール遊びが出来る広さもあるので、良いと思う	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	1			3	送迎時も2人体制でやって頂けて、安心です	出来るだけ、2人体制での送迎を今後も務めていきます
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1			3	駐車場にスロープがある	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている			1	3		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている			1	3		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている			1	3		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	1			3		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	1			3		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			1	3		
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた			1	3		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた			1	3		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている			1	3		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1			3	送迎時に情報交換ができています	子供たちの日々変化に気づき、保護者さんに連携できるよう努めていきます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	1			3		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている				1	3	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている			1		3	
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	1				3	送迎時に話ができる時間がある	保護者さんからも子供たちの変化や自宅での様子を伝えてくださるので、助かっています

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	1				3 毎月の活動報告やスケジュール表で確認が取れている為、助かります	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	1				3 できています	今後も個人情報に十分に配慮していきます
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1				3 感染症等、電話で確認が取れている為、安心	感染症等の情報は、その都度発信していきます 避難訓練等も実施していき、再度緊急時対応を保護者さんへ通知していきます
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1				3 活動予定表に、避難訓練がある	年に2回以上、実施していきます
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	1				3 毎日楽しみにスケジュール表を見て、その日の活動をチェックしています	これからも子供たちが楽しみながら支援が受けられるようにしていきます
	23	事業所の支援に満足している	1				3 全力で子供と向き合って指導してくれて、助かります	今後も全力で支援に努めていきます

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月31日

事業所名 児童デイサービス結らんど山里

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5		部屋ごとに活動する場所、クールダウンが出来る場所等分けている	死角があつたりするが、各部屋に最低1名は職員が見守りを行っています
	2 職員の配置数は適切である	6	1			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		1	6	玄関前に段差があるが、スロープを設置している	トイレ等や介助が必要な場面の十分な広がない為、その都度対応していきます
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	1		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		1		アンケート集計後に、職員間で周知、共有し業務改善していきます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1			ホームページにて公開しています
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			2		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	4	1		研修参加の機会を増やしていきます
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			今後も定期的にあセスメントを行い、計画書の作成を行います
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4	1	通所初めに、保護者さんへアセスメントシートの記入を実施しています	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			職員全員で、活動案のアイデアをだしている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	1		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	5	1	平日は室内、休日は外出支援を実施	外出支援も公園だけでなく、自立に向けた体験等を検討していきたいと思います
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		1		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			日々、受け入れ前には職員ミーティングの実施を行っています	今後、役割等の内容を細かく確認ができるようにしていきたいと思います
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		1	連携ノートの活用	連携ノートを活用し、いつでも振り返りが行えるようにしています
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1			職員の意識強化していきたいと思います
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1	5	1		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7			サビ管、管理者が参加		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	7				年度初めには、学校の先生や保護者さんと連携をとり、下校 時間の確認を行います またその都度、行事等で日程が変わる時は連絡を取りいま す	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		1	6	対象児童なし		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている			7	担当者会議等に参加	職員間で、情報共有し確認していきます	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	2		5	担当者会議等に参加		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている			1	6		今後職員のスキルアップを図るため、積極的に参加してい きます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある				7		今後、機会があれば参加していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している				7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6		1		引継ぎ時、もしくは連絡 帳を活用しながら共有し ています	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている				7		研修会等あれば積極的に参加していきます	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7					
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	7				その都度対応している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している				7		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7				その都度対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6			1	事業所だよりで発信して いる	
	35	個人情報に十分注意している	7					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に関かれた事業運営を図っている				7		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		6	1	マニュアル作成し、事業所内に掲示している	職員や保護者に最周知していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		1	6		年2回以上、訓練実施していきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			月1回、事業所内で勉強会を実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	4	身体拘束を行わない支援を心掛けている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		1	6	保護者と確認、連携を行っている	今後、医師からの指示書等のコピーを事業所で控えて、共有していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1		今後、事例集作成し、共有できるようにしていきます



保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月31日

事業所名 児童デイサービス結らんど山里 保護者等数(児童数) 12回収数 9割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1		ボール遊びが出来る広さがあり、良いと思う	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1		日々の利用人数や職員配置がわからない	出来るだけ、2人体制での送迎を今後も務めていきます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		駐車場にスロープがある	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	8	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9			毎月、スケジュール表で楽しんでいる	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	1	交流があるかわからない	今後、機械があれば実施していきます
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1		毎月のお知らせで確認ができています	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	8	1		送迎時に、情報交換ができています	子供たちの変化に気づき、保護者さんに連携できるよう努めています
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9			気になる事をその都度相談ができています	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	4	保護者会には参加できていない	現在、保護者会等は実施していませんが、今後検討していけたらと思います
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		いつでもなんでも話してくださいと言って頂けるので、助かります	支援向上の為、何かあればお伝えしていただけたら助かります
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9			送迎時に、話す時間がある	保護者さんからも、積極的に自宅での様子や学校での事を教えてくださるので、助かります
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1		毎月の活動報告やスケジュール表で確認できるので助かります	事業所だより等で発信しています
14 個人情報に十分注意しているか	8	1		できています	今後も配慮に努めていきます	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	2	1	感染症がでたら、電話で確認しているので大丈夫です	マニュアル等見直しを行い、周知していきます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	4		スケジュール表に避難訓練が記載されている避難訓練をしたと聞いたことがない	年2回以上、実施していきます
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7	2		たまに行き渋りがある日による	
	18 事業所の支援に満足しているか	9			落ち着けて、安心していける場所になって良かった中高生に向けた支援内容もあると嬉しい	活動内容の見直しを行っていきます

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。